



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12 : 30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 山城康司 幹事 / 滝下 勲 会報委員長 / 土井昌司
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第8回 通算1216回 平成23年8月30日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/9 修正出席率
		55名	34名	66.7%	96.1%

ゲスト：米山奨学生 ユン・サーヴィンさん ビジター：(なし)

会長あいさつ

山城康司会長

米山奨学生の卓話



こんにちは。残暑が続いております。アメリカではハリケーン・アイリーンが来ました。今回の被害

を最小限に出来たのは、リーダーの判断だと思われま。日本では、今日、新しい総理大臣が決まります。野田総理は、松下政経塾の第1期生で、政経塾出身者で初めての首相だそうです。今後の日本の舵取りをお願いしたいと思ひます。

棟方志功さんの話をします。現在、棟方志功展が愛知県美術館で行われています。東北復興特別企画で開催されています。日本の版画を作られた方です。世界中を回られ、日本のゴッホを目指された方です。愛知県にも棟方志功の作品があるのです。新城市の鳳来寺にある梵鐘の図柄は棟方の下絵によるものです。日光菩薩・月光菩薩をはじめ、薬師如来を護持する12神将が描かれているそうです。9月4日まで行われていますので、機会がありましたらお出掛け頂ければと思ひます。

幹事報告

滝下 勲幹事

納涼例会出席のお礼
例会臨時変更のお知らせ
次回例会について

委員会報告

雑誌委員会(小野委員長)
ロータリーの友8月号の紹介

「カンボジアの今とこれから」

ユン・サーヴィンさん

こんにちは。皆さんはカンボジアについて、あまりご存知でないと思ひます。本日、カンボジアの歴史と観光産業についてについて紹介させていただきます。



カンボジアは王国で王様がいます。現在の王様はノドム・シハモ二国王で、前の王様がノロドム・シハヌーク国王です。

カンボジアの歴史は、中国の書物によると、紀元前1世紀ごろ、ほぼ現在のカンボジア南部からベトナム南部のメコン・デルタ地帯に跨る地域に扶南(フナン)という王国があったと言われてひます。13世紀頃から首都アンコール中心で王国がありました。

1863年に、フランスによるインドシナ半島の植民地化が開始されました。ベトナム南部を征服していたフランスは、1893年からカンボジアを支配することになりました。1940年に、日本軍がインドシナ半島に侵攻し、この機に乗じてノロドム・シハヌーク国王は1945年にカンボジアの独立を宣言し、フランスの影響は後退しました。1946年にはフランスの統治が再開され独立は消滅しましたが、1947年には憲法を公布し、1949年にはフランス連合内での独立を獲得し、1953年には「カンボ

ジア王国」として、完全独立を達成しました。そして、皆でいろいろ頑張っ国を発展させてきました。その後、民族や色んな問題で1975～1979年のポル・ポト時代は、極端な農本主義政策が採られました。非効率的なやり方で、飢餓と虐殺で200万人ともいわれる大量の死者を出しました。その後も内戦が続いて1991年、カンボジア和平パリ協定が開催され、国際連合カンボジア暫定統治機構（UNTAC）が設置され、1993年に国民議会総選挙が行なわれ、シハヌークが国王に再即位し、カンボジア王国が統一政権として誕生しました。日本からも色々と支援を受けたお蔭でもあると私個人的には思っています。1999年に東南アジア諸国連合に加盟して、現在のカンボジアが始まりました。



現在のカンボジアは、日本語で「カンボジア王国」と言います。中心はプノンペンで、人口が135万人で日本の8分の1。面積は日本の半分です。公用語は、クメール語で、フランス語や英語も使われています。宗教は仏教です。GDPは113億ドルです。一人あたりのGDPは2千ドルです。今は内戦が終わって人口がどんどん増えています。出稼ぎの人がプノンペンに流れ込んできているためのです。プノンペンのGDPは急速に増加しています。人口の中で10代20代が一番多いです。この年代がカンボジア経済を支えていると思います。プノンペンには、中国や韓国企業による都市開発が進んでいます。日本企業はあまり見掛けません。しかし、日本企業は、海岸方面で海岸整備プロジェクトとリゾート開発にかかわっているようです。もうひとつはアンコールワットの世界遺産を中心に開発も進んでいます。

プノンペン人口密度が非常に高いです。企業開発密度も高いです。プノンペンの観光として、王様の住んでいる宮殿を見に来る観光客が多いです。建築としては、昔フランスにより、開発された街なので、多くの建物はフランス建築のような感じなので、ヨーロッパ系の観光客も多いです。もちろん、カンボジアの建築物も多くあります。国内の投資家による開発や中国の企業による開発も進んでいます。カンボジア初めての46階の高層ビルの建設が進行しています。

アンコール中心の開発も進んでいます。ハリウッド映画撮影も行われており、来年には完成するので、全世界公開されると思います。海岸エリアの開発も進んでいます。日本のJICA協力を得て、新しい港の建設も計画しています。また、メコン川に存在するイルカはもう100頭しかいませんが、観光の活発剤になると思います。中山間地域でもリゾート開発も増えてきています。少数民族の暮らし体験ツアーもあります。カンボジアへの観光客はどんどん増えています。政府は2020年700万人を目標としています。

最後に、私もカンボジアのため、子どもたちの笑顔のため、頑張っています。ご静聴ありがとうございます。



カンボジア王国の国旗



国章

ニコニコボックス

- 原田邦夫会員 誕生日を祝って頂き
- 土井昌司会員 //
- 山本章吾会員 //

クラブ目標：会員増強純増	2名
クラブ目標：R財団寄付額	\$100/人
現在の状況	
会員増強	純増0名
R財団寄付額	\$10/人

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。